

2013年度
ノーベル平和賞受賞
における
新聞報道比較

グループG

クイズ①

昨年

ノーベル平和賞を
授賞したのは？

答え

昨年、ノーベル平和賞を受賞したのは.....

OPCW(化学兵器禁止機関)

**Organisation for the Prohibition of
Chemical Weapons**

1997年に発行した化学兵器禁止条約(CWC)に基づき設立された国際機関である。

本部はオランダ・ハーグ市。国連加盟国のほとんどが加盟しているが、北朝鮮・エジプト・南スーダン・アンゴラ・ミャンマー・イスラエルは加盟していない

キーワード

ノーベル
平和賞

OPCW

マララ
ユスフザイ

比較した新聞

- 日本語

- 読売新聞、朝日新聞、毎日新聞

- 英語

- New York Times (米), The Guardian (英)

- ドイツ語

- Frankfurter Allgemeine Zeitung

テーマ概要

- ノルウェーのノーベル賞委員会は10月11日、2013年のノーベル平和賞を化学兵器禁止機関(OPCW)に授与すると発表した。女性や子供たちの教育を受ける権利を訴えるパキスタンの少女マララ・ユスフザイさん(16)は最有力とされていたが、受賞しなかった。

The Huffington Post 10月11日の記事引用(http://www.huffingtonpost.jp/2013/10/11/nobel-peace-prize_n_4082889.html)

前提知識① OPCWについて

- 化学兵器禁止機関(OPCW)とは、1997年4月に発効した化学兵器禁止条約(Chemical Weapons Convention)に基づき設立された国際機関

外務省HP引用(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bwc/cwc/opcw.html>)

- 今回の授与は、化学兵器の廃棄や拡散防止への貢献を評価するとともに、内戦下のシリアで進行中の廃棄活動を後押しする狙いがある。

朝日新聞デジタル引用(

<http://www.asahi.com/international/update/1011/TKY201310110269.html>)

前提知識② マララさんについて

- パキスタンの女性人権活動家。1997年7月12日生まれ。女性の教育の権利を認めないタリバンの圧力に屈せず、「女の子にも教育を、学校に通う権利を」と主張。昨年10月、スクールバスで下校途中に、タリバンに銃撃される。頭部を撃たれ、生死の境をさまようものの、奇跡的に命をとりとめ、その後も教育のための活動を続けている。その勇気と主張が評価され、史上最年少でノーベル平和賞候補にも名前があがり、数多くの賞を受けている。

『わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』
著：マララ・ユスフザイ、学研ホールディングス 著者紹介引用

前提知識③ 近年のノーベル平和賞の傾向について

- 近年は「核なき世界」を唱えて受賞した2009年のオバマ米大統領のように、実績より“期待値”に重きを置くケースが目立っている。
- OPCWへのノーベル平和賞授与には、内戦が続くシリアでの化学兵器全廃計画を後押しする政治的な意図がある。今回はその傾向が色濃く表れた形だ。

iza 産経デジタル10月12日記事引用・一部改変(<http://www.iza.ne.jp/topics/world/world-166-m.html>)

仮説

- 今回の報道比較を通して、国や新聞社によって報道の位置付けの違いを確認することができる。
- 具体的には、
- 報道の中で各社としての主張を出しているのではないか。
 - 最有力候補とされながらも受賞者として選ばれなかったマララさんに対する言及に差があるのではないか。
 - また、各社・各国の報道の姿勢の違いが見えてくるのではないか。

クイズ2

一番報道は多かったのは？

比較したデータ

お手元の資料を参照して下さい。

ビジュアル比較

- 全社ほぼロイター通信、AP通信など国際通信社に頼る。
- 日本国内の出来事・日本人に関する記事は独自で撮影、経緯図の作成が特徴。
- 日本はマララさんとオバマ大統領の談話記事をオバマの政策記事と同紙面に掲載。
- NYTのみ、OPCW本部からの写真提供、またマララさんの地元Swat ValleyでNYT所属記者が独自に入手した撮影もある。またマララさん本人の写真を利用していない。

国際通信社



Ausgezeichnet: Chemiewaffeninspektoren der OPCW sammeln Proben in Damaskus.

FAZ



OPCW inspectors report safe samples after suspected chemical attacks in the Damascus suburb of Ghouta in April. The picture: Safe samples of chemical weapons could be destroyed in a matter of hours on the ground.

Guardian



A Favorite Didn't Win a Nobel

A chemical weapons watchdog won the Nobel Peace Prize on Friday, although one favorite has been a young Pakistani advocate for the education of girls like those near Islamabad. Page A8.

NYT



読売



11日、ハーグで、ノーベル平和賞授賞式を受けて記者会見するOPCWのウズムジュ事務局長（ロイター）

毎日



独自



毎日



シリアで活動 OPCWに

最近10年間のノーベル平和賞受賞者・団体(敬称略)

年	受賞者・団体	国
04	ワンガリ・マータイ	ケニア
05	国際女子力開発	
05	ムハンマド・エルバラダイ	エジプト
06	クラミン銀行	バングラデシュ
06	ムハマド・ユヌス	
07	男隊変態に賛する陸境 院パナール	
07	アルゴア	米国
08	マルッティン・アハティセリ	フィンランド
09	バラック・オバマ	米国
10	劉敬儀	中国
11	エレン・サーリーフ	リベリア
11	レイマ・ポワン	
11	タワックル・カルマン	イエメン
12	欧州連合(EU)	
13	化学兵器禁止機関(OPCW)	

て任 開らうなが 能化れも業シ

読売

化学兵器廃棄施設の内務検査...
化学兵器禁止機関(OPCW)をめぐる主な経緯
1925 毒ガス戦争の禁止を定める「ジュネーブ議定書」作成
80 日本軍が中国で化学兵器を使用
90 越戦で米国が枯れ葉剤を投下
92 カン・ドクソ南浦長が「化学兵器禁止に反対」と発言。報告書提出。国連などで化学兵器禁止を議論
79 ソ連がアフガニスタンの毒ガス使用の疑い
80 軍縮委員会で化学兵器禁止特別委員会が設立
90 年代 イラクがイラン・イラク戦争などで化学兵器使用の疑い
92 化学兵器禁止条約案が採択。93年に印で条約署名式
97 化学兵器禁止条約発効。化学兵器禁止機関(OPCW)が設立
98 オマーン政権が施設解体でOPCWが査察
2001 米国同時多発テロを受けOPCWが議論
04 リビアの化学兵器保有でOPCWが廃棄作業を監視
8 年 シリアで化学兵器と見られる大規模攻撃が発生
13 年 OPCWがシリアの化学兵器の廃棄計画を採択
10 年 OPCWがシリアの査察を開始。ノーベル平和賞の授賞が決定

朝日



NYT



Guardian

オバマとマララ談話利用

2013年10月12日(土) 夕刊 3版

OPCWにノーベル平和賞

「OPECW」にノーベル平和賞を授けられた。OPECWは、化学兵器、生物兵器、放射線兵器、核兵器の開発、生産、貯蔵、輸送、使用、転用、廃棄の禁止を定めた条約である。OPECWは、1993年に発効した。OPECWは、1997年にノーベル平和賞を受賞した。

軍縮機運拡大に期待 実現への道は険しく

「軍縮機運拡大に期待 実現への道は険しく」

シリア3施設査察終了

「シリア3施設査察終了」

米大統領 野党案に難色

「米大統領 野党案に難色」

マララさん、米大統領と会談

マララさんは、米大統領オバマと会談した。マララさんは、オバマ大統領に、アフガニスタンの教育の重要性について話した。オバマ大統領は、マララさんの話を聞いて、感動した。マララさんは、オバマ大統領に、アフガニスタンの教育の重要性について話した。オバマ大統領は、マララさんの話を聞いて、感動した。

オバマケア 険しい船出

米医療保険 義務化へ登録スタート

共和党の州知事ら協力拒否

オバマケアのネットワークの登録が、1日から始まっている。共和党の州知事らに協力拒否されている。オバマケアのネットワークの登録が、1日から始まっている。共和党の州知事らに協力拒否されている。

オバマケアのネットワークの登録が、1日から始まっている。共和党の州知事らに協力拒否されている。

オバマケアのネットワークの登録が、1日から始まっている。共和党の州知事らに協力拒否されている。

自由の女神 閉鎖解除同意

「自由の女神 閉鎖解除同意」

未加入15% 対策急務

「未加入15% 対策急務」

オバマケアのネットワークの登録が、1日から始まっている。共和党の州知事らに協力拒否されている。

オバマケアのネットワークの登録が、1日から始まっている。共和党の州知事らに協力拒否されている。

オバマケアのネットワークの登録が、1日から始まっている。共和党の州知事らに協力拒否されている。



マララさん、米大統領と会談



マララさん、オバマ氏と面会

無人機攻撃「市民が犠牲」と声明

「無人機攻撃「市民が犠牲」と声明」

読売新聞 考察

・マララさんの記事は全くと言っていいほどなかった

→マララさんは社会改革、社会運動を象徴する存在であると言えるため、保守派として不必要な報道であった？

・社説にて、「日本は実績があるため、よりいっそうOPCWを支援していくべきだ」という論調

→OPCWの機関の実績についても記事がある

→実際にどうであるか、これからどうすべきか、に焦点をおいている？

朝日新聞 考察

- 毎日新聞と同様、記事ではOPCWとマララさん両者を賞賛している。
- また、記事数も今回の調査対象の中では毎日新聞に次ぐ13件と多かった。
 - 日本が歩んできた固有の歴史(原爆被害等)から来る平和に対する高い意識故か？
- 日本の新聞社では唯一、社説でOPCWに触れていない。
 - 本件に関して、社としての主張は特にないのではないか。

毎日新聞 考察①

・「機運を後押し」・「機運拡大に期待」・「追い風」といった見出しが目立った

→OPCWの過去の実績ではなく、現在の活動が未来へ成果につながるという長期的視点での評価が伺える

・OPCWの活動の恩恵を全く感じていないという趣旨のシリア市民のコメントを掲載

→一層の撤廃への動きが必要であると訴えているのではないか？

毎日新聞 考察②

・オウム施設に向かう写真や日本人自衛官のコメントなど日本との関わりを掲載

→「日本はもっと兵器撤廃に積極的に関与すべき」という社説を展開

→これまでの個々の日本人の貢献を評価しつつも、世界の中で日本が国として果たすべき役割はまだあるとの想いの表れであろうか？

The Guardian 考察

- ・一つの記事の中に、マララさん・OPCW・化学兵器廃棄の現状・元局長のコメント・など、複合的な報道をしている

- ・マララさんの写真のみを一面で使っている等、マララさんに関する報道が多い

- 撃たれたマララさんはイギリスの病院で治療を受けた

- イギリスはパキスタン移民が多く、問題も起きているため、全面的に支援する姿勢を示したかったのではないか。

The New York Times

- OPCWを過小評価する記事
- マララさんを批判する地元を批判
- マララが授賞しなかったことを非難、彼女を英雄化する記事
- マララさんの写真を利用しない

➡あえてマララの写真を使用せず、彼女が女性のあり方、世の中を変える人物であることを主張する。世論と消費者(マララさん支持派)を意識した報道を行う。

Frankfurter Allgemeine

- OPCWとノーベル賞委員会への皮肉報道、ドイツはなぜマララを報道しなかったのか？
- 人々の興味関心が無い。
- 写真はシリア情勢に消費者の関心があるから。
 - ノーベル平和賞は意味が無いと思っている。
 - 文化としてアメリカとイギリスと違って人々をあがめる<Heldenmut、Nationalstolz>が無い。(ヒトラーの歴史より。)

言語比較

ドイツ語と英語に見られる ネガティブ表現

英語(アメリカ)

→OPCWについて

•a little known United Nation backed organization

国連に支援されたあまり知られていない組織

•an organization that had worked in relative obscurity

陰で薄暗く働いてた組織

•working discreetly, almost shunning publicity,
公共の目を遠ざけながら、控えめに働く

•but to make this worthy of the Nobel Peace Prize, I just don't get it.

ノーベル賞の価値に値するには、理解できない。

•said he was puzzled by the award

彼は賞を授賞したことに対して混乱していると言った

※ドイツに無いタブーとされる言葉

•chemical weapons had been used by Hitler's armies in their campaign of mass extermination

化学兵器は大規模な撲滅運動のためにヒトラーの軍隊で使用された

ドイツ語

→OPCWについて

• Ausgezeichnet:
Chemiewaffeninspektoren der OPCW sammeln Proben in Damaskus.

• 優秀の美: 化学兵器監視機関
OPCWがダマスクスでサンプルを集める。

→ノーベル委員会について

• Oft genug nicht genuegen konnten oder wollten

• 賞を授与し期待された人物もしくは組織は十二分にできなかった、もしくははしたくなかった。

ドイツ語と英語に見られる ネガティブ表現 使用された宗教用語

zerstören

(破壊する、壊してしまう、だめにする)

Chemiewaffen zu zerstören
化学兵器を破壊するために

Ri. 9,45 die Stadt z.

1:士師記/09章 45節 町にいた民を殺し、**町を破壊し**

Vernichtung

(滅ぼす、破壊しつくす)

OPCW damit begonnen, die Vernichtung der Chemiewaffen des syrischn
Regies von Praesident al Assad zu ueberwachen.

OPCWはアッсад政権からの化学兵器の破壊を監視することから始めた。
1Ko 15,26 der Letzte Feind,
die ich v. wird ist der Tod.
コリントの手紙/15章26節 最後に**滅ぼす悪者**は、死である。

Einsatz (聖職者などの<任命>)

Mission (使命、<宗>宣教)

Die OPCW übernehme sich mit dem beispiellosen Einsatz
in einem Konfliktgebiet. **Üzümcü** stimmte schliesslich eine
Mission.

OPCWは紛争地で前例の無い任命を担う。
ウジュムジュは最終的に使命であると宣言した。

Wohlmeinen (善意的な)

Aber die reale Welt der internationalen Beziehungen hat sich
immer wieder als komplizierter erwiesen,
als sich das die wohlmeinenden Mitglieder des Osloer
Nobelkomitees vorgestellt hatten.

しかしながら現実の国際的な関係は善意的なオスロのノーベル
賞委員会が思い描いていたよりも、さらに複雑になったこと
が明らかになった。

Spr 27,9 der wohl. Rat gibt

箴言/27章 09節 友人の**優しさ**は自分の考えにまさる。

Erwartungen (期待)

Personen oder Organisationen – den Erwartungen, die mit der
Verleihung verbunden waren,
oft genug nicht genügen konnten oder wollten.

賞を授与した期待された人物や組織はたいてい十分に**できな
かった**もしくは**したくなかった**のである。

Lk 3,6 als das Volk voll E. war

ルカによる福音書/03章 06節 人は皆、神の救いを**仰ぎ見る**

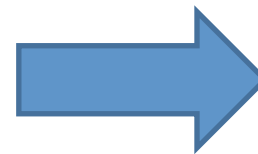
OPCWについて

Zerstören(記者の表現) ⇔ Vernichtung(OPCWの表現)

Einsatz(記者の表現) ⇔ Mission(OPCWの表現)

ノーベル賞委員会について

Die Wohlmeinen Mitglieder des Osloer → aber die reale Welt.../ den Erwartungen → nicht genügen konnten oder wollten



平和賞を受賞した
OPCWに期待しない

ドイツ語の紙面構成

①国際連合とOPCW両方シリアで化学兵器を撤廃する組織が存在する

OPCW UN SC

Waffeninspekture erhalten Friedensnobelpreis

am. WASHINGTON, 31. Oktober. Die Organisation für das Verbot von Chemiewaffen (OPCW) wird in diesem Jahr mit dem Friedensnobelpreis ausgezeichnet. Das norwegische Nobelkomitee teilte am Freitag in Oslo mit, die OPCW erhalte den mit umgerechnet rund 920.000 Euro

betragten Preis „für ihre unermüdeten Bemühungen, Chemiewaffen zu zerstören“. OPCW-Generaldirektor Ahmet Ziajanci sagte, er sehe den Preis „auch als die Anerkennung der Bemühungen unserer Mitarbeiter, die jetzt in Syrien sind und die sehr mühsame Anstrengungen unterstützen, um ihre Aufgabe zu erfüllen“. Am 1. Oktober hatte die OPCW damit begonnen, die Vernichtung der Chemiewaffen des syrischen Regimes von Präsident Bashar al Assad zu überwachen, es sei das erste Mal seit Gründung der Organisation vor 16 Jahren, dass ihre Mitarbeiter diese Aufgabe in einem Bürgerkriegsland versehen. Häufig werden derzeit Sicherheitstrainings für die Inspektoren organisiert. Unter russischem Druck hatte Assad eingewilligt, dass Syrien als 190. Staat der Chemiewaffen-Konvention beitrete. Zuerst waren bei einem Giftgasangriff in Ghuta mehr als tausend Syrer getötet worden. (Fortsetzung Seite 2.)



Ausgezeichnet: Chemiewaffeninspekture der OPCW sammeln Proben in Domsisat.

Foto: Reuters

③皮肉的な表現

ノーベル平和委員会について

Die Wohlmeinenden

Von Günther Nonnenmacher

Der Friedensnobelpreis genießt hohes Prestige. Das hat allerdings wenig daraus geändert, dass seltsame Laureaten – Personen oder Organisationen – den Erwartungen, die mit der Verleihung verbunden waren, oft genug nicht genügen konnten oder wollten. Erinnerung sei an Barack Obama, der kurz nach seiner Wahl zum amerikanischen Präsidenten gewählt wurde, inzwischen ist sogar, unter Hinweis auf den in seiner Regierungszeit intensivierte Drohnenkrieg, die Forderung erhoben worden, der Preis solle ihm wieder aberkannt werden. Oder Arafat, Rabin und Peres, die 1994 für ihre Bemühungen um den israelisch-palästinensischen Friedensprozess den Preis erhielten, ohne dass die nahöstliche Politik seitdem aus ihren Sackgassen herausgefunden hätte. Beide Ehrungen waren Preise auf Vor-schuss mit dem Ziel, die politisch Handelnden zu weiteren Fortschritten zu ermutigen. Aber die reale Welt der internationalen Beziehungen hat sich immer wieder als komplizierter erwiesen, als sich das die wohlmeinende Mitglieder des Osloer Nobelkomitees vorgestellt hatten.

Es steht zu befürchten, dass es dieses Mal nicht anders wird. Mit der Organisation für das Verbot von Chemiewaffen (OPCW) ist ein Instrument ge-ehrt worden, das die Staaten 1997 geschaffen hatten, als die Chemiewaffen-Konvention in Kraft trat, um das Ziel einer chemiewaffenfreien Welt zu erreichen. Seither ist auf diesem Feld der Abrüstung viel geschahen, die OPCW hat das überwacht und ihr Knowhow zur Verfügung gestellt. Das ist zweifellos verdienstvoll. Aber sie war nie eigenständiger Akteur, sondern erhielt Aufträge von der Staatenswelt wie jetzt wieder, da sie die Registrierung und Vernichtung von Chemiewaffen in Syrien im Auftrag der UN beaufsichtigen und betreiben soll.

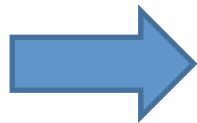
Der verweis auf syrien zeigt, dass es sich wieder um einen Preis auf Vor-schuss handelt. Zwar kann man die Hoffnung hegen, dass Assads Zustimmung zu diesem Abrüstungsschritt der erste Schritt auf dem Weg zu einer Friedensregelung war. Es steht aber auch die Befürchtung im Raum, dass sich der syrische Machthaber damit nur Zeit gekauft hat, um einen Bürgerkrieg, dem inzwischen mehr als hunderttausend Menschen zum Opfer gefallen sind, mit konventionellen Waffen in aller Brutalität weiterzuführen. Es wäre weiser gewesen, hätte das Komitee in Oslo noch abgewartet.

②シリア情勢の悪化を報告

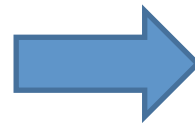
- 記事: 平和に向けたOPCW・国連のシリア活動に期待できない
- 現状: ドイツはシリア情勢に前向きでない
- 問題: ドイツだけでなくEU全体の取り組みが遅れる
シリアの状態が悪化する、問題が増加する
- 主張: ドイツ政府へのシリア情勢に対する姿勢を変えるメッセージ

英語に見られたポジティブ表現

- a Global Heroine After an Attack
 - 攻撃後のグローバルなヒロイン
- a symbol of peace and bravery has been established across the world
 - 平和と勇気の象徴は世界中に確立された
- many expressed pride in the bravery of their most famous teenager
 - 多くの人々は彼らの最も有名な若者の勇気にプライドを表した
- there was a groundswell of support
 - 彼女の支援へ世論は高まった
- good luck messages flooded facebook and twitter
 - FacebookやTwitterで激励の言葉が溢れた
- Ms. Yousafzai represented the struggle of girls and women everywhere against tyranny and oppression.
 - ヨサファイさんは暴虐な行為と迫害に対抗する全ての女性の苦難を代表した



OPCWにはネガティブ表現
マララさんには強調ポジティブ表現



マララさんが選ば
れなかったこと
に対する不満報道



A Favorite Didn't Win a Nobel... Malala Yousafzai, 16, a Pakistani activist for female education, was named the 2014 Nobel Peace Prize laureate.

States Plan 2-Tier System For Balloting... DIVIDE NARROWS AS TALKS GO ON IN FISCAL CRISIS... MORE FLEXIBILITY SEEN

Week Citizenship Proof in Non-Federal Races... But Don't Expect Quick Deal, White House and Congress Say

② マララさんの存在に反対する人々を記者が批判

JPMorgan's Loss Is Corporate Law Firms' Gain... ① マララさんではなく、キャプションに「マララさんのような少女が」と書く

Pakistani Girl, a Global Heroine After an Attack, Has Critics at

Malala Yousafzai, 16, Evokes Mixed Feelings



Children lined up for the morning assembly, Friday in Balochistan province.

Malala's story has become a global phenomenon... Critics have accused her of being a propaganda tool.

③ マララさんを称賛 OPCWの記事は6面にと紹介

Anger Lingers in Sudan After a Crackdown Berlusconi Aiding War V Italy Speculates on His P

Anger Lingers in Sudan After a Crackdown... Berlusconi Aiding War V Italy Speculates on His P



A police checkpoint south of Khartoum was heavily guarded by soldiers last week.



FREE GIFT... HARRY'S SHOES

HARRY'S SHOES... HARRY'S-SHOES.COM

full-time console, part-time dinner party.

RESOURCE ENTITLEMENT... Clarks

TODAY! Meet the Clarks Representative!

TIP TOP SHOES.COM

Chemical Weapons Watchdog Wins Nobel Peace Prize... OPCWの存在に反対する人々を記者が批判

④ OPCWへ期待されてたマララが受賞しなかったと批判

Belarus, U.S. Have No Attack, He Criticizes

Belarus, U.S. Have No Attack, He Criticizes



A person sitting in a wheelchair, possibly related to the article on Belarus and the U.S.

Belarus, U.S. Have No Attack, He Criticizes... Clarks advertisement text.

1面 METANYAHU TAKES A LONELY STAND DENOUNCING IRAN... JPMorgan's Loss Is Corporate Law Firms' Gain

Wooing 'Hometown Industry,' De Blasio Meets Wary Wall St.



Wooing 'Hometown Industry,' De Blasio Meets Wary Wall St. Bill de Blasio is wooing Wall Street...

INTERNATIONAL... Google to Let User Data in Ads... A Lot of Reading to Do... Zanban Stroll in Again... The Fox Says It's Hit... Can, Not Really Underdogs

① マララさんがノーベル平和賞に選ばれたべきだったと主張する報道... タリバン政権への反感を持つことができる... 現状: オバマ政権下ではシリア軍事介入... 問題: オバマ政権の支持率低下 → 国民の関心を利用した政権支持率を高める報道

Clarks advertisement text: Suggestion, just, for an emergency! TIP TOP SHOES.COM

日本語のポジティブ・願望表現

読売

- ・ 『廃棄には国際支援が不可欠だ。』(タイトル)→主張
 - ・ 化学兵器に向けた経済、外交面での国際的支援をシリア内戦の收拾にも繋げたい。→願望
 - ・ 国際社会による早急な支援が不可欠である。→主張
 - ・ ノルウェーのノーベル賞委員会がOPCWへの授賞を決定したのは、そのような支援を各国に呼びかける狙いもあろう。→推測
 - ・ アサド政権の後見役であるロシアは最大の努力をして欲しい。→願望
 - ・ OPCWには、日本はこれまでも予算拠出や自衛官派遣で貢献してきた。シリア和平のため、一層の支援に努めてもらいたい。→願望
- ➡政府への意見

毎日

- ・ 『シリア停戦の後押しに』(タイトル)→主張
 - ・ 危険な状況下で任務に当たっているチームを激励し、同時に内戦の当事者に停戦と和平を促す、ノーベル賞委員会の政治的メッセージを込めた決定だろう。→推測
 - ・ 内戦の当事者に早期に停戦と和平を受け止めてほしい。→願望
 - ・ また日本も査察要員の派遣など協力が求められており、積極的に要請に応えるべきだ。→主張
- ➡政府への意見

- ・ 他の2言語とは反対にOPCWへポジティブな表現を使用
- ・ シリア和平のためにOPCW支持することを支持する主張
- ・ 安全保障が背景に絡む、アメリカへの支持を主張している記事でもある

結果

● 今回の報道比較を通して、国や新聞社によって報道の位置付けの違いを確認することができる。

→具体的には、

- ・報道の中で各社としての主張を出しているのではないか。
- ・ドイツ→政府へのシリア情勢に対する姿勢を変えるメッセージ
- ・アメリカ→国民へ政権を支持を促すメッセージ
- ・日本→政府へシリア和平のためにOPCWを支持することを主張

● 最有力候補とされながらも受賞者として選ばれなかったマララさんに対する言及に差があるのではないか。

- ・アメリカ→政府を支持するためにマララさんを利用
- ・ドイツ→なし
- ・日本→中立的立場を保つため
- ・イギリス→自国賞賛のためマララを利用

● ・また、各社・各国の報道の姿勢の違いが見えてくるのではないか。

・オスロから報告したのは日本のみ

→他の国々は報告を重要視していなかった、情報が伝わっていたのではないか。

・ドイツはワシントンから報告。

・アメリカはむしろマララさんの地元Swat Valleyから報道を中心に行った。マララさんが受賞してもしなくても始めからマララさんを利用する予定ではなかったのか。いずれにせよ今回彼女が受賞しなかったことでおいしい記事となったのでは。もし先に情報が伝わっていたとしたら...計画された報道である。